

○正副2部提出してください。 **記入例**

別紙2 その1 **ボイラーや塗装施設、印刷機など、ばい煙や悪臭などを発生する施設を設置する場合はこの用紙を使用し、青字のように、関係する部分を記入してください。**

ばい煙、粉じん、有害ガス又は悪臭の発生施設の構造・使用の方法

工場に於ける施設番号		1-3			
種類・名称・型式		糊付け機			
使用開始（予定）年月日		R 00.00.00			
規	主要寸法 (m) 又は定格出力 (kW)				
	伝熱面積・火格子面積・火床面積 又は羽口面断面積 (m ²)				
	原材料処理能力 (t/h) 又は焼却能力 (kg/h)				
	燃料の燃焼能力 (ℓ/h、m ³ N/h) 又は変圧器の定格容量 (kVA)				
模	乾燥施設の容量 (m ³)				
	電流容量 (kA) 又はポンプの動力 (kW)				
使用状況	1日の使用時間・1月の使用日数	9時～17時 20日/月	時～時 日/月	時～時 日/月	時～時 日/月
	季節変動	なし			
材料	種類	接着剤			
	使用割合				
	いおう分 (%) カドミウム分 (%) 又は鉛分 (%)				
	1日の使用量	10kg			
燃料又は電力	種類				
	灰分 (%)・いおう分 (%)				
	発熱量				
	1日の使用量				
	混焼割合				
参考事項	接着剤中の溶剤 キシレン1.9% トルエン2.8%				

備考 1 この用紙は、申請書の「機械・設備等の施設」欄に記入した施設のうち、条例別表第7 1の部(1)の款の付表第1に掲げる施設、同条例別表第3に掲げる有害ガスを発生する施設、粉じんを発生する施設（施行規則別記第7号様式の別紙3又は4に該当する施設を除く。）及び悪臭を発生する施設について記入すること。

2 「いおう分 (%) カドミウム分 (%) 又は鉛分 (%)」欄の記入に当たっては、重量比及び容量比の別を明らかにすること。

3 酸素吹込式の炉については、「参考事項」欄に、酸素吹込量、使用時間等を記入すること。

ばい煙、粉じん、有害ガス又は悪臭の処理の方法

処理施設の工場における施設番号		1-7							
処理する発生施設の工場における施設番号		1-3							
処理施設の種類・名称・型式		活性炭脱臭機							
使用開始(予定)年月日		R 00.00.00							
処理能力	総排出物の量 (m ³ N/h)	最大							
		常用							
	総排出物の温度 (°C)	処理前							
		処理後							
	総排出物中の酸素濃度 (%)		処理後						
	ばい煙の濃度等	ばいじんの濃度 (g/m ³ N)	処理前						
			処理後 (効率%)	()	()	()	()		
		いおう酸化物の濃度 (容量比 ppm)	処理前						
			処理後 (効率%)	()	()	()	()		
		いおう酸化物の量 (m ³ N/h)	最大	処理前					
				処理後 (効率%)	()	()	()	()	
			常用	処理前					
				処理後 (効率%)	()	()	()	()	
		窒素酸化物の濃度 (容量比 ppm)	最大	処理前					
				処理後 (効率%)	()	()	()	()	
常用			処理前						
			処理後 (効率%)	()	()	()	()		
有害ガス・粉じん・悪臭	トルエンの濃度 (mg/m ³ N)	処理前	1000						
		処理後 (効率%)	50 (95%)	()	()	()			
	キシレンの濃度 (mg/m ³ N)	処理前	1000						
		処理後 (効率%)	50 (95%)	()	()	()	()		
使用状況	1日の使用時間・1月使用日数		9時~17時 20日/月	時~時 日/月	時~時 日/月	時~時 日/月			
	季節変動		なし						
煙突・排気塔	高さ (m)								
	頂口径 (m)								
	排出速度 (m/s)								

備考1 ばい煙の濃度等は、乾きガス中の濃度等とすること。

2 有害ガス・粉じん・悪臭の「.....の濃度」欄には、有害ガス、粉じんについてはその種類を、悪臭については悪臭の文字を記入し、() 欄には、cm³/m³N、mg/m³N、臭気指数又は臭気排出強度の文字を記入すること。